

やまが 市議会だより

第21号

3月定例会

令和元年6月1日
発行／山鹿市議会



鹿本中学校体育大会（平成30年度）
全校生徒による「魂のタンブリング」

息整え見つめる先は不動岩
今飛び立たん世界の空へ

も く じ

委員会構成変更	2
委員会審査と報告	3～5
市政のここが聴きたい	6～10
審議結果・賛否表・主な議案・討論	11～13
議会の主な動き 他	14

新たな常任委員会の構成

委員会の任期満了に伴い構成委員が変わりました（2月28日付け）

【委員会名の変更】

広報委員会



広報広聴委員会

【各委員会の委員】

◎委員長

○副委員長

総務文教常任委員会（任期2年）

◎寺崎 勇児 ○服部 香代 平井 邦廣 芹川 正美 富丸洋一郎 勢田 昭一
小川 榮二

市民福祉常任委員会（任期2年）

◎堀 茂幸 ○吉本 政幸 永田 紘二 藤本 峰秀 有働 辰喜 芋生よしや

建設経済常任委員会（任期2年）

◎富田 弘海 ○北原 昭三 横手 啓介 池田 誠一 藤原 豊 立山大二郎

議会運営委員会（任期2年）

◎北原 昭三 ○服部 香代 寺崎 勇児
堀 茂幸 吉本 政幸 富田 弘海

広報広聴委員会（任期2年）

◎勢田 昭一 ○立山大二郎 池田 誠一
服部 香代 有働 辰喜 芋生よしや

※広報広聴委員会では、議会だより編集のほか
議会報告会やタブレット導入について企画協議
します。



▲総務文教常任委員会



▲市民福祉常任委員会



▲建設経済常任委員会

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報委員会で作成したものを掲載しています。

○は委員長
○は副委員長

総務文教常任委員会

3/12 開催

◎寺崎 勇児 ○服部 香代
平井 邦廣 芹川 正美
富丸洋一郎 勢田 昭一
小川 榮二

◆付託案件

議案29件……可決
陳情2件……継続審査

◆主な審査内容

平成30年度山鹿市一般会計補正予算
(第5号)

問

保育士の処遇は良くなったか

答

今年度処遇改善加算等により
2・4%運営費が加算されている。

山鹿市行政財産使用料等条例の一部を
改正する条例

問

行政財産と普通財産の違いは

答

行政上の特定の用途または目
的に供されるものが行政財産。
それ以外の特定の用途または目

委員会構成変更

常任委員会審査と報告(一)

市政のことが聴きたい

審議結果・賛否表・主な議案・討論

女子ハンドボール世界大会を成功させよう!

問

就学援助費はどれだけの児童
・生徒に援助するのか

答

児童・560名 生徒・286
名の合計846名に援助している。

平成31年度山鹿市一般会計予算

問

山鹿消防署鹿北分署の建築は

答

建築後44年が経過し、耐震不
足・老朽化により、消防機能の
更なる充実強化のために建て替
えるもの。本年度設計費を計上
敷地面積は、390㎡とし、鉄
骨造2階建てとする。

問

支援を必要とする児童生徒の
ため、サポートティチャーの増
員は

答

今年度は、5名増員する。

問

サイクリングターミナルの今
後の運営は



八幡小学校

現地調査

鹿本小学校

令和2年4月開校に向けての校舎建
設工事の進捗状況を調査した。

鹿本こども園

平成31年4月開園する施設状況を調
査した。

八幡小学校

土砂災害特別警戒区域の指定場所を
調査した。

陳情

○多目的展示会場 仮称「山鹿展示文
化センター」の設置についての陳情書
○山鹿市役所庁舎への喫煙所設置に関
する陳情書

ともに継続審査

博物館との関連も考えながら、
令和2年3月31日で廃止する計
画である。

問

女子ハンドボール世界大会の
チケット販売の現状と今後の取
り組みは

答

大会通し券の先行販売が、伸
び悩んでいる。6月末に組み合
わせ抽選があり、対戦国が決定
後、一般販売開始となる。対面
販売や地元企業・団体への販売
を考えている。市民の皆様のご
協力をお願いしたい。



鹿本こども園

市民福祉常任委員会

3/11
開催

- ◎堀 茂幸 ○吉本 政幸
- 永田 紘一 藤本 峰秀
- 有働 辰喜 芋生よしや

◆付託案件

議案16件：可決

◆主な審査内容

平成30年度山鹿市一般会計補正予算
(第5号)

問 プレミアム付商品券事業とは

答 消費税増税に伴い令和元年10月1日から令和2年3月31日購入・利用で発行される商品券。2019年度住民税非課税世帯と3歳未満児を対象に国庫補助金で発行。1万1000人を予定。

問 商品券はどこで利用できるのか

答 市内事業者を条件なしで広く公募し、使える店を決定する予定である。

平成30年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 介護基盤緊急整備特別対策事業費は要件を満たさず減額となったが、改善指導をして、整備を進める努力は

介護基盤緊急整備特別対策事業費は要件を満たさず減額となったが、改善指導をして、整備を進める努力は

答

平成30年度は、1法人から、応募があったが、計画が地域特性を活かしきれていないこと、地域の人に開かれていないこと、方針が明確でないなどの意見で不承認となった。平成31年度も全域を対象に募集を行うので、再度応募できる。

問

介護拠点は全域網羅が必要だと思いが現状は

答

旧山鹿の4圏域で8事業所。鹿北で2事業所。菊鹿で1事業所。鹿本に2事業所。鹿央に1事業所がある。

「環境センター」事業系 紙おむつ受け入れへ

問

予防拠点がない地域は募集して行くのか

答

地域ごとで高齢者の集まる場所、介護予防の場所としても有効であり、第7期介護保険事業計画では、市全域を対象に8圏域、旧山鹿は4圏域、少なくとも2箇所ずつの予防拠点立地を計画している。研修等のなかで啓発やお願いもして進めていきたい。

平成31年度山鹿市一般会計予算

問

高齢化によって何らかの支援が必要な方への施策に取り組んでいるが、周知は

答

これまでの広域事務管理委託広域焼却場では、処理能力等の問題から受け入れてこなかったが、山鹿市環境センターの処理能力に問題

問

4月稼働の環境センターで、これまで受け入れてこなかった事業所から排出される使用済み紙おむつを、受け入れるとのことだが

答

広報紙面やケアマネージャー、社会福祉協議会等を通じて行っている。

健診時、訪問調査員等が自宅訪問した際なども、情報提供していきたい。シルバー人材センター等でも支援を行っている。



市内の介護施設

問

感染性と非感染性はどこで判断するのか。誰が責任を持つのか

答

判断と責任は排出する事業所。

問

事業所は、きちんと判断でき、それが確認できるのか

答

環境省の感染性廃棄物処理マニュアルに基づき判断できる。また、市から通知する環境省の指針に基づき排出する紙おむつについては、事業所が非感染性として責任を持って排出したものであり、紙おむつ一つ一つの確認は行わない。



山鹿市環境センター

建設経済常任委員会

3/8 開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三
横手 啓介 池田 誠一
藤原 豊 立山大二朗

◆付託案件
議案34件：可決

◆主な審査内容

- ・山鹿市木工体験施設条例の一部を改正する条例
- ・山鹿市鹿央古代の森交流施設条例の一部を改正する条例
- ・山鹿市一本松農村公園条例の一部を改正する条例
- ・山鹿市農産物加工施設条例の一部を改正する条例
- ・山鹿市水辺ブラザかもと条例の一部を改正する条例
- ・山鹿市小栗郷カントリーパーク条例の一部を改正する条例

答

受益者負担の割合に基づく算定方法での改正。消費税が5%から8%に増税されたときには変更せず、今回が初となる。公共サービスの割合が高いものは低く設定している。

問

平成31年度山鹿市一般会計予算
消費生活センターについて、寄せられたトラブルに対しての処置は

委員会構成変更

答

特に高齢者からの相談で、架空請求や通信販売、電話勧誘に関するものが多い。

窓口を設けて、有資格者の専門相談員を配置し、状況により弁護士会や県の機関を紹介している。出前講座での相談も受け付けており、これからも実施する。

問

畜産糞尿処理施設等整備事業について、バイオマス施設廃止に伴うものだろうか、詳しい説明を

答

バイオマス施設は令和2年度まで稼働、令和3年3月末日で受け入れを完了し解体となるため、個別で処理施設を整備する。

「経済を創る」観光戦略、始動!

問

更なる観光客の誘致を図るための主な取り組みは

答

福岡都市圏を最重要ターゲットとし、交通アクセスの整備として、まず久留米から山鹿温泉・平山温泉までの直行バスの試験運行を実施する。

問

千人灯笼踊りの今後の踊り手確保は

答

登録制度を導入し、市内外から多くの踊り手を確保する。裾野を広げるため、高校や企業にも声をかけていく。

問

商工振興対策事業、受入態勢充実費の内容は

答

地元の事業者がおもてなしの体制づくりを構築できるようアドバイザーと共に協議していく「稼ぐ観光地再生事業」をはじめ、これまでの創業開業支援空き店舗対策事業やにぎわい創出協議会事業なども予算を増額して人材育成や情報発信、販路拡大に注力する。

問

市営住宅について、くみ取り式トイレの水洗化は進んでいるか
空き部屋数は

答

工事を計画している上久野団地で水洗化を完了する。空き部屋数は



幸ヶ丘第2団地

問

は平成30年12月末現在で48戸ある。
大宮通花見坂線の改修工事内容は

答

2か年計画で、道路部分に建て込まれた電柱を民地側に移動させ、側溝を整備し、歩きやすく風情のある舗装を施す。

平成31年度山鹿市下水道事業会計
予算

問

大宮通の下水整備は、改修工事と一緒にした方が効率的ではないか

答

改修工事に併せて公共マス等については調整を行う。

現地調査

市道認定路線（方保田）

市道認定に係る現地調査。

幸ヶ丘第2団地（鹿北町芋生）

市財産の譲渡に関する現地調査。
旧鹿北町の、若者の移住定住支援策として建設された団地。入居15年経過で払い下げる契約となっていたため譲渡するもの。



市政のことが聴きたい

審議結果・賛否表・主な議案・討論

市政のここが聴きたい!



こちらのQRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市ホームページ → 市議会一覧 → 定例会の様子

の順にクリックしてください。

受動喫煙防止対策について

質問 改正健康増進法により山鹿市役所は敷地内禁煙にすることだが、山鹿市は全国でも有数の葉たばこ生産地を有する自治体であり、農業振興の面からもしっかりとした分煙の環境を整え、受動喫煙を防止することが必要ではないか

答弁 市長

葉たばこは主要農産物の一つであり、市たばこ税も3億円を超えているが、法改正の「望まない受動喫煙をなくす」という趣旨を重く捉え、総合的に判断した結果、敷地内全面禁煙にしたいと考えている。

バイオマスセンターについて

質問 バイオマスセンターは令和2年度末を目途に廃止の方針ということだが、現状と廃止後の施設等はどうするのか

答弁 経済部長

現在、畜産農家は個別処理方式への移行に向けて取り組んでいる。移行完了後令和2年度末で同センターでの受け入れは廃止するが、廃止後もタンク内を空にするために1年程を要する。液肥施設は解体し、堆肥舎は利用組合に貸し付ける。令和3年度には補助金返還等の手続きも完了したい。

はっとり かよ
服部 香代 議員



読書のまち山鹿の取り組み等について

質問 図書館を利用していない市民への読書啓発をどのようにしていくか。また学校と公立図書館との連携をどう考えているのか

答弁 教育部長

移動図書館車の活用や広報やまがで毎月情報発信し、図書館まつりも行っている。学校への取り組みは「ぶっくぼっくす事業」や授業カリキュラムに沿ってまとめて貸し出す図書の設定リストの作成等、様々な手法を考えている。図書館では、ブックスタートの実施や大型連休中は休館せず、平日は開館時間の延長をしている。気軽に読書ができる場、課題解決の拠点としてもらいたい。



ながた こうじ
永田 紘二 議員

自主防災組織の活動の現状と今後について

答弁 総務部長

直近で、市内全258行政区のうち228行政区で結成され、世帯カバー率は90.4%。平成31年度中に100%を目指す。本年度は31組織で避難や炊出し訓練のほか、消防本部職員を招いて初期消火訓練や心肺蘇生訓練も行われている。

今後も自分たちの地域は自分たちで守るという共助の精神で、災害発生時に真に活動できる組織づくりのため、先進的な取り組みの紹介や、リーダー研修の開催等、情報の共有と組織同士の交流の活性化を図る。

消防団の組織と活動の状況と今後の対策について

- 質問** ①消防団の出場状況、活動状況の現状は
②アンケート調査の進捗状況、分析結果と今後の対策は
③自主防災組織に対する消防としての関わりは

答弁 消防長

- ①山鹿市消防団の組織は、条例定数2,200名の実員数2,037名である。(平成30年4月2日現在)退団員数と新入団員数を比べると明らかに退団員数が多い事が予測され、平成31年度の団員数は減少が見込まれることで、今後の消防力の低下とならないよう、山鹿市消防団本部と新しい施策を協議をしていく。
②現在の進捗状況は、今年の2月下旬に各区長宛にアンケートを送付した段階であり、回収後分析を行う。

アンケートの結果を踏まえ、将来において消防団が地区にどう関わり合っていくのか、また地域が抱える課題等を精査し、常備・非常備消防の在り方、適正な人員配置、連携等のあらゆる施策を消防団と協議を重ね考えていきたい。

- ③自主防災組織は各行政区で結成された組織であり、地域に一番身近で共助の根幹である組織と理解している。自主防災組織の各種訓練に対し、消防署としても指導を行っている。
また、地域の消防団も、地域に根ざした組織であり自主防災組織にとっても身近で頼りになる組織であるため、2つの組織が連携を図り地域の防災にどう貢献出来るのかを消防団本部と検討を重ねていく。

教育委員会委員の選定の過程について

- 質問** ①教育委員会委員の人選等はどういう過程で行われるか
②教育行政の範囲は多岐にわたり、その内容も複雑化している。委員には教育行政の最終判断者としての資質が求められるため、より多様な人材が必要であり、委員の定数増も検討すべきと思うが市長の考えは

答弁 ① 総務部長 ② 市長

- ①地方教育行政法に定める任命の要件を踏まえ、教育問題への関心や課題解決への意欲等委員としての適格性を備えた方の中から、任命権者である市長が、最適と思う方をお願いし提案している。
②委員の人選に当たっては、任命権者としての職務の重大さを自覚しつつ取り組んでいる。教育行政が所掌する事務に精通した方を人選してきたところであり、今後も多様な人材の中で活発な議論が行われ、課題解決に当たっていただきたい。委員の増員については現行の定員数を基本としつつ、教育委員会と市長部局間の連携を強化し、教育に関する施策の総合的な推進を図っていく。



いもう
芋生 よしや 議員

国保税の引き下げについて

- 質問** ①国民健康保険税の「均等割」「平等割」とは
②協会けんぽとの保険料の差は

答弁 福祉部長

- ①被保険者の負担能力に応じての所得割（市は資産割は算定せず）と、受益者負担の程度に応じての世帯人数に対する均等割及び世帯平等割がある。合計保険税と国庫支出等によって医療費を賄う。
②協会けんぽは、被保険者の標準報酬月額などに応じた負担であり、事業主が保険料の2分の1を負担する等、国保税より安い場合が多い。

質問 子どもの均等割減免を行っている自治体は

答弁 福祉部長

現時点で把握しているのは、全国8自治体が子どもの均等割減免を行っている。

水道民営化についての見解

- 質問** 山鹿市の上水道の現状と課題は
水道民営化についての見解は

答弁 水道局長

人口減少に伴う減収は避けられないが、上水道と簡易水道の施設整備が進められ安定供給体制が確立されている。今後は施設の維持管理と老朽管更新と耐震化を進める。安全で安心できる水道を次世代に引き継ぐことが、公共水道の使命と考え、経営の効率化を図り健全運営に努める。

さくら湯の駐車場について

- 質疑** さくら湯の利用者数の推移、夜間22時以降の利用者数は

答弁 経済部長

平成24年11月開湯から5年間で、年間16万1千人から17万3千人で推移。22時以降利用者は1日当たりの総数450名の7%で約30名。

- 質疑** 駐車マナー向上に向けた対策と夜間照明の時間延長はできないか

答弁 経済部長

隣接駐車場は20台で、さくら湯利用者にご迷惑をかけている。今後関係機関とも協議し、巡回強化と新たな案内板の設置を行う。

温泉プラザ山鹿の駐車場照明の時間延長は安全・防犯面からも配慮が必要であり、温泉プラザ管理組合に協力を求めている。



さくら湯駐車場

経済を支える「農・林・商・工業」の支援について

質問 平成30年6月一般質問後の地元高校生の地元企業への就職対策は

答弁 経済部長

昨年の6月議会終了後、山鹿市企業連絡協議会会員企業14社の採用担当者と県鹿本地域振興局及び山鹿市、市内高校等の進路担当者を交え、8月に意見交換会を実施し、山鹿市内の企業を紹介する企業ガイダンスの開催に向け、協議していく事を確認した。

その後、各高校と個別の協議を緊密に重ね、本年2月に市内高等学校等5校のうち、城北高校2年生とその保護者を対象とした企業ガイダンスを開催し、会員企業17社が参加され、企業概要などを説明。他の高校は、本年4月以降に行う予定。

その他に、県と市の一体的取り組みの事業の一環で、会員企業43社を掲載した「鹿本地域企業ガイドブック」を作成している。

今後の地元高校生を中心とした就職の対策や課題としては、山鹿市においても製造業を中心に人手が不足していることや、新たな企業を誘致する際は優遇措置と人材確保が進出の条件となっていることから、引き続き市内高校への訪問等を行い、情報の共有及び連携を強化し、企業ガイドブックを有効活用し、地元企業の周知を図っていく。



せいだ しょういち
勢田 昭一 議員

子どもを支える「子育て・子ども・若者」の支援について

質問 小学校体育部活動から社会体育への移行は順調か

答弁 教育部長

平成27年度からスポーツ団体の代表者や学校関係者等からなる運営委員会を立ち上げ、小学校体育部活動から社会体育への移行に向け協議や検討を行ってきた。また、保護者への説明会の開催や、広報等により周知し、社会体育移行への準備を行ってきた。

現在、市内12の小学校中、鹿北小学校が平成29年度から社会体育移行を完了しており、山鹿・三玉・菊鹿・めのだけ・稲田の5小学校が新たなスポーツクラブ（10クラブ）を立ち上げる予定。

残りの小学校は、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど民間のスポーツクラブへの参加を促していく。

安心・安全な暮らしについて(Net119緊急通報システム)

質問 Net119緊急通報システムとは、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障害者が円滑に消防への通報を行えるシステム。前回の質問より約1年が経過したが、その後の進捗状況については

答弁 消防長

国の動向並びに近隣消防本部の整備状況を踏まえ、また、社会公共の福祉の増進に資する観点から、平成31年度予算要求に計上しており、令和2年4月1日の運用を目指している。

防災行政無線の情報伝達手段等について

質問 防災行政無線の間こえ方に関する要望等についてどのように対応しているか

答弁 総務部長

現在、特に山鹿地域と鹿本地域の方から苦情が多いことから、デジタル方式による再整備を計画的に進めており、できるだけ早く聞き取りづらい地域の解消に努める。

小児がんの早期発見について

質問 山鹿市として網膜芽細胞腫を含む小児がんの早期発見の取り組みについては

答弁 福祉部長

市では独自に視力検査とは別に、山鹿市内の眼科と契約をし、その他の検査を含めた「無料3歳児眼科健診」を実施し、異常の早期発見・早期治療に努めている。

きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員



交通弱者対応等について

質問 あいのりタクシーの利用状況と今後の方向性は

答弁 市民部長

4つの区域での平成29年度の延べ利用者数は、合計28641人となっている。市民が地域で生きがいを持って住み続けられる持続可能な地域公共交通の構築を目指す上で重要な課題であり、網形成計画の策定作業において基本的な対応策を協議し、今後策定する実施計画で具体的な施策・事業を選定し、この課題に対する着実な取り組みを進めたいと考えている。

危険空き家の実態等について

質問 山鹿市特定空家等除却促進事業補助金制度の利用状況については

答弁 総務部長

利用状況は、平成28年度から平成30年度までに、18軒の解体に対し、補助を行っており、年々増加傾向にある。このため、平成30年度に予備調査を行い、平成31年度は17件が該当する見込み。今後も引き続き危険空き家等の除却を進めたいと考える。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

学校規模適正化事業（米野岳中学校区）

質問 山鹿市は、PTA役員会や保護者会、地域説明会では、中学校隣接地に併設、共用で平成26年度開校と繰り返し提示しているが、それでも裁判で述べている統合校予定地ではなかったと言えるか。また、隣接地案の見直しは、米田校区の動向は関係ないのか

答弁 教育部長

損害賠償請求の裁判に関わる内容につき答弁を差し控える。

質問 徒歩通学がスクールバス通学となり、児童の1日の運動量は減少。新年度から部活も廃止され社会体育に移行。①児童の体力面での維持・向上対策はどのようにするのか。②統合前後における体力変化を校区民に周知しては

答弁 首席教育審議員

- ①毎日の5分間ランニング、週1回全児童による20分間の全校体育を実施。
また、時間割の工夫で年間20時間程度を体育の授業に充て体力向上に努めている。
- ②統合後2年間の体力面での変化を学校便りでお知らせし、学校と地域が情報を共有して取り組む。

※上記質問のほかに統合検討委員会、教育委員会、統合準備委員会等の会議録を時系列に整理して、統合校予定地見直しから、米田ありきの統合校位置決定までについて、検討委員会の役割と市の認識、統合準備委員会規程改正の目的、委員選考の疑念、位置決定プロセスの疑念などに関する会議録を引用して質問を行った。



米野岳中学校隣接地



せりかわ まさみ
芹川 正美 議員

出入国管理及び難民認定法の改正に伴い外国人の増加が想定されることについて

質問 ①市の対応はどうなっているか
②地域とのかかわりは

答弁 ①総務部長 ②市民部長

①この法律は、日本への入国や出国、外国人の在留資格などを規定しているが、今般、人材確保が困難な分野（農林水産業・建設業・介護福祉等）において、外国人労働者の受け入れを図る目的で改正された。3月1日現在の本市での外国人登録者数は362人で、5年前と比べ160人増となっており、既に企業や個人経営の農家等において働く外国人労働者は多くなっている。市としては、行政手続上での不利益や、文化・習慣の違いによる地域住民との摩擦を生じないようにする支援が必要であり、関係機関と連携を密にした相談体制の充実が欠かせないと考える。

②区における対応の在り方については、今後さらに増加が予想される外国人との地域トラブル防止や地域コミュニティ維持のため、区長さん同士の意見交換の場を設け、情報を共有して実情に即した受け入れが図られるよう努めたい。



市内事業者へのキャッシュレス決済導入への支援

質問 観光産業強化のため普及が必要と考えるが

答弁 経済部長

観光客増加に結びつける有効な手段。既存の「がんばる商店街支援事業」や新規の「宿泊施設魅力向上支援事業」において、商店街や宿泊施設が取り組む「IT情報化整備」を支援メニューに位置づけるなど、キャッシュレス決済に向けた環境整備を支援する。

市指定の燃やすごみ袋の安定供給

質問 ①昨年夏に中袋が不足した理由は
②今後の安定供給に向けた施策は

答弁 市民部長

- ①平年より早い梅雨明けと猛暑のため、生ごみ等をこまめに出す方が増えたこと、また、核家族化が進み世帯数が増加、中袋のニーズが増えていることが考えられる。
- ②年度途中においても気候など自然現象に伴うごみの出し方の変化や購入状況を確認しながらサイズごとに製作枚数を確保する。なお、平成31年度は本年10月にごみ袋の金額改定を予定していることによる需要増を見込み、燃やすごみの大袋は前年度から35万枚増の175万枚、中袋は前年度から5万枚増の35万枚、小袋は前年度同数の7万5千枚の製作を予定。

平成31年度山鹿市一般会計予算について

質疑 防犯対策費

- ①平成31年度のすずらん灯を含む防犯灯のLED化の予算は
- ②今後の更新計画は

答弁 総務部長

- ①市が管理している防犯灯は、すずらん灯を含め約730基あり、そのうちLEDに更新できていないものが約660基ある。現在器具等の交換が必要なものから順次LEDへ更新しており、平成31年度の予算は110万円である。
- ②防犯灯の管理主体や、器具の劣化の状況等を含めた緊急性などの諸条件を整理したうえで、LEDへの更新計画を策定し更新していく。すずらん灯については、消費電力や寿命について圧倒的に省エネとなる蛍光灯タイプのLEDへの切り替えが望ましいと考えている。



すずらん灯

たてやま だいじろう

立山 大二郎 議員



市役所や中心市街地の駐車場問題解消

質問 ①市が中心市街地に保有する駐車場台数は
②駐車場の検討状況及び今後の方針は

答弁 建設部長

- ①市役所駐車場150台、豊前街道駐車場170台、合計320台程度。
- ②「中心市街地賑わいプロジェクト会議」で6箇所の候補地を洗い出して絞り込み、地権者協議など様々な検討が進められているが、事業用地等としての利用計画があるため、確保には至っていない。今後も協議・検討を進める。



豊前街道駐車場

※その他「SDGs への見解と展望」を質問した。

とみた ひろみ

富田 弘海 議員



市政運営方針(市長説明要旨)について

質問 「第2次山鹿市総合計画前期基本計画」、「山鹿市総合戦略」に基づく施策の取り組み状況及び平成31年度以降の展開は

答弁 市長

これまで総合計画及び総合戦略に基づき、「新シルク蚕業構想」、「菊鹿ワイナリー構想」、「山鹿灯籠ジャパンプランド構想」の3つの戦略創造プロジェクト等の取り組みにより、山鹿の地に新たな産業が生まれ、そこに若者を中心とした雇用の創出がなされるなど「経済の好循環」が生まれ、確実に前進し一定の成果が収められた。

しかし一方で、市内外への情報発信不足、地元事業者への取り組みが浸透しきれていないなどの課題も見えてきた。平成31年度は、これらのプロジェクトをさらに深化させるべく施策を予算化し、総合戦略の最終年度で総仕上げの年として取り組みや成果を検証するとともに、次期総合戦略に向けた検討がスタートする大変重要な1年になる。

今後も地域創生の流れを確かなものとするために、行政内部の組織を強化するとともに、官民一体となった「オール山鹿」の体制でしっかりと取り組んでいく。

平成31年（第1回）3月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第 1 号	平成30年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)	可 決
議案第 2 号	平成30年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
議案第 3 号	平成30年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可 決
議案第 4 号	平成30年度山鹿市介護保険事業特別補正予算(第3号)	可 決
議案第 5 号	山鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 6 号	山鹿市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 7 号	山鹿市行政財産使用料等条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 8 号	山鹿市立隣保館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 9 号	山鹿市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第10号	山鹿市斎場条例の一部を改正する条例	可 決
議案第11号	山鹿市鹿央地域福祉センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第12号	山鹿市らんらんハウス条例の一部を改正する条例	可 決
議案第13号	山鹿市高齢者福祉施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第14号	山鹿市健康福祉施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第15号	山鹿市木工体験施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第16号	山鹿市鹿央古代の森交流施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第17号	山鹿市一本松農村公園条例の一部を改正する条例	可 決
議案第18号	山鹿市農産物加工施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第19号	山鹿市水辺プラザかもと条例の一部を改正する条例	可 決
議案第20号	山鹿市小栗郷カントリーパーク条例の一部を改正する条例	可 決
議案第21号	山鹿市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第22号	山鹿市灯籠民芸館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第23号	山鹿市岳間渓谷キャンプ場条例の一部を改正する条例	可 決
議案第24号	山鹿市さくら湯条例の一部を改正する条例	可 決
議案第25号	山鹿市旧来民郵便局条例の一部を改正する条例	可 決
議案第26号	山鹿市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可 決
議案第27号	山鹿市バスセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第28号	山鹿市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第29号	山鹿市下水道条例の一部を改正する条例	可 決
議案第30号	山鹿市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決
議案第31号	山鹿市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決
議案第32号	山鹿市A L T住宅条例を廃止する条例	可 決
議案第33号	山鹿市民交流センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第34号	山鹿市公民館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第35号	山鹿市立博物館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第36号	清浦記念館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第37号	山鹿市川辺地域コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第38号	八千代座等条例の一部を改正する条例	可 決
議案第39号	山鹿市鹿北研修センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第40号	山鹿市ふれあい塾条例の一部を改正する条例	可 決
議案第41号	山鹿市鹿本ふれあいセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第42号	山鹿市農村集落多目的共同利用施設下分田センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第43号	山鹿市鹿央多目的研修センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第44号	山鹿市カルチャースポーツセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第45号	山鹿市社会体育施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第46号	山鹿市立小・中学校体育施設の使用に関する条例の一部を改正する条例	可 決

議案等番号	案 件	結 果
議案第47号	山鹿市深瀬健康増進施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第48号	山鹿市上永野活性化施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第49号	山鹿市内田構造改善センター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第50号	山鹿市立児童館条例の一部を改正する条例	可 決
議案第51号	山鹿市民医療センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	可 決
議案第52号	平成31年度山鹿市一般会計予算	可 決
議案第53号	平成31年度山鹿市国民健康保険事業特別会計予算	可 決
議案第54号	平成31年度山鹿市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第55号	平成31年度山鹿市農業集落排水事業特別会計予算	可 決
議案第56号	平成31年度山鹿市介護保険事業特別会計予算	可 決
議案第57号	平成31年度山鹿市簡易水道事業特別会計予算	可 決
議案第58号	平成31年度六郷財産区特別会計予算	可 決
議案第59号	平成31年度城北財産区特別会計予算	可 決
議案第60号	平成31年度稲田財産区特別会計予算	可 決
議案第61号	平成31年度山鹿市水道事業会計予算	可 決
議案第62号	平成31年度山鹿市病院事業会計予算	可 決
議案第63号	平成31年度山鹿市下水道事業会計予算	可 決
議案第64号	山鹿市定住自立圏形成方針の廃止について	可 決
議案第65号	財産の譲渡について	可 決
議案第66号	財産の譲渡について	可 決
議案第67号	財産の譲渡について	可 決
議案第68号	財産の譲渡について	可 決
議案第69号	財産の譲渡について	可 決
議案第70号	財産の譲渡について	可 決
議案第71号	財産の譲渡について	可 決
議案第72号	財産の譲渡について	可 決
議案第73号	財産の譲渡について	可 決
議案第74号	財産の貸付けについて	可 決
議案第75号	市道路線の認定について	可 決
議案第76号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第77号	公平委員会委員の選任について	同 意
議案第78号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第79号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第80号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第81号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第82号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第83号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第84号	六郷財産区管理委員の選任について	同 意
議案第85号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第86号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第87号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第88号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第89号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第90号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
議案第91号	稲田財産区管理委員の選任について	同 意
陳情第6号	多目的展示会場 仮称「山鹿展示文化センター」の設立についての陳情書	継続審査
陳情第7号	山鹿市役所庁舎への喫煙所設置に関する陳情書	継続審査

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議 員	立山大二郎	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第7号～第20号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号～第31号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号～第49号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号～第52号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

反対討論

消費税10%増税を見越しての、さくら湯入湯料やごみ袋、施設使用料など値上げの条例改正と予算計上の47議案について、市民負担を増やすべきではなく反対する。山鹿市でも「経済的な困窮状態に陥る人々が増加しており、地域社会のつながりの希薄化、社会的孤立のリスク拡大、貧困の世代間連鎖といった課題も深刻化している。」と議案説明にも述べられており、市民の厳しい生活の実態がある。

その実態を直視して、国に「増税はやめよ」と声を上げ、市長が掲げる「地域に希望と活力を与える」「住民の心の豊かさ・満足度の最大化が図られる」ように、市民に負担を押し付けることはやめるべきである。

4月に稼働が開始される山鹿市環境センターに、感染性産業廃棄物としてこれまで受け入れてこなかった事業系紙おむつは慎重に扱うべきであり、新たに受け入れることに反対する。

3番議員 芋生 よしや

主な議案

- 平成31年度（令和元年度）一般会計予算 284億7,500万円（前年比△9.3%）
- 〈主な事業予算〉
 - ・放課後児童健全育成事業……………1億8,338万6千円
 - ・放課後児童クラブを全小学校に設置し、放課後や長期休業中の子どものサポートを行う。
 - ・商業振興対策事業……………1億2,452万7千円
 - ・観光資源を活用して商業者自ら儲かる仕組みを構築するもの。（稼ぐ観光地再生事業など）
 - ・常備消防施設整備事業……………1億3,299万1千円
 - ・屈折はしご付消防ポンプ車を配置し火災、災害に対応する。
 - ・学校規模適正化事業……………11億2,135万6千円
 - ・鹿本小学校の屋内運動場等の施設整備を行い統合小学校の環境を整える。
- 山鹿市行政財産使用料等条例の一部を改正する条例（他41件の条例改正）
- 消費税及び地方消費税の税率の引上げ並びに使用料等の見直しに伴い所要の規定の整備を行うもの。

議会の主な動き

1月

- 4日(金) 仕事始め式
全員協議会
- 13日(日) 山鹿市消防団出初式・一斉放水
- 14日(月) 山鹿市成人式
- 16日(水) 熊本県北市議会協議会
山鹿市「夢プロジェクト」講演会
- 17日(木) 山鹿市防災のつどい
- 21日(月) 全員協議会
- 22日(火) 九州市議会議長会第4回理事会～23日
- 25日(金) 百歳到達者表敬訪問
- 29日(火) 日本遺産関連3市議員合同研修会

2月

- 1日(金) 山鹿灯笼浪漫・百華百彩オープニングセレモニー
- 4日(月) 赤穂十七義士慰霊祭
- 7日(木) 全国広域連携市議会協議会第50回総会
- 15日(金) カルチャースポーツセンター整備事業
「多目的G・テニスコート」竣工式
- 16日(土) 鹿本幼稚園・幼慈園合同閉園式
鹿本地域植樹祭
- 19日(火) 百歳到達者表敬訪問
- 20日(水) 水源感謝祭
- 21日(木) 議会運営委員会
- 24日(日) 鶴城中学校閉校記念式典
- 28日(木) 3月定例会開会
全員協議会

3月

- 1日(金) 市内高校卒業式
- 3日(日) つばみ保育園新園舎完成落成式
- 6日(水) 3月定例会質疑・一般質問
広報委員会
- 7日(木) 3月定例会質疑・一般質問・委員会付託
- 8日(金) 建設経済常任委員会
- 9日(土) 市内中学校卒業式
- 11日(月) 市民福祉常任委員会
- 12日(火) 総務文教常任委員会
- 14日(木) 議会運営委員会
- 15日(金) 3月定例会委員長報告・討論・採決・閉会
全員協議会
- 17日(日) 鞠智城跡「特別研究」成果報告会
- 18日(月) 百歳到達者表敬訪問
- 21日(木) 第7回清浦総理顕彰あんずの丘マラソン大会
- 22日(金) 市内小学校卒業式
- 31日(日) 山鹿市環境センター竣工式

行政
視察

ようこそ山鹿市へ

1月18日	宮城県登米市	日本遺産認定
1月21日	栃木県真岡市	認知症支援
1月30日	岩手県花巻市	さくら湯再生
1月31日	兵庫県西脇市	認知症支援
2月6日	山口県山陽小野田市	空き家バンク
2月6日	大分県佐伯市	窓口民間委託

【人事案件】

〈教育委員会委員〉

市長から提出された「教育委員会委員の任命」については、次のとおり同意しました。
山鹿市鹿北町岩野 野中 米里 氏(再任)

〈公平委員会委員〉

市長から提出された「公平委員会委員の選任」については、次のとおり同意しました。
山鹿市中 中原 正則 氏(再任)

〈六郷財産区管理委員〉

市長から提出された「六郷財産区管理委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市菊鹿町上永野	田中 和義 氏(新任)
山鹿市菊鹿町下内田	月足 正信 氏(新任)
山鹿市菊鹿町長	山品 森雄 氏(新任)
山鹿市菊鹿町太田	丸山 信敏 氏(新任)
山鹿市菊鹿町下永野	田中 正信 氏(新任)
山鹿市菊鹿町下内田	前田 信博 氏(新任)
山鹿市菊鹿町上永野	岡 東洋夫 氏(新任)

〈稲田財産区管理委員〉

市長から提出された「稲田財産区管理委員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿本町庄	古閑 龍二 氏(新任)
山鹿市鹿本町高橋	緒方 孝徳 氏(新任)
山鹿市鹿本町下高橋	高橋 保幸 氏(新任)
山鹿市鹿本町津袋	池田 雄一 氏(新任)
山鹿市鹿本町石淵	前田 春喜 氏(新任)
山鹿市鹿本町庄	星子 千幸 氏(新任)
山鹿市鹿本町小嶋	渡邊 孝 氏(新任)

議会を傍聴に来ませんか!

本会議及び常任委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

市議会の定例会は3・6・9・12月の4回開催しています。

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ本会議及び常任委員会の傍聴においでください。

常任委員会の傍聴に関しては、先着順となっており、まずは議会事務局にて受付をお願いします。

日程は事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先
議会事務局 TEL0968-43-1634

編集
後記

前回まで「広報委員会」として議会だよりの編集のみをやってきたが、今回から「広報広聴委員会」として①議会だよりの編集、②タブレット導入、③議会報告会、この3つを企画・運営する委員会として新しくスタートした。先日、小学校・中学校の入学式に参加した。新入生の「担任から名前を呼ばれてのハッソと大きな返事」「礼儀正しいあいさつ」に感動した。自分の入学式での記憶はない。でも、きっと、今日の新入生と変わらなかつたと思う。この新入生、山鹿を担う子どもたちのために、も素晴らしい山鹿市を創っていくかなければならないと感じた。

そんな時、この「広報広聴委員会」もスタートした。私たちも新入生に負けないように元氣よく、明るく、希望を持ち充実した活動にしていきたい。

広報広聴委員長 勢田 昭一